

経験者も初心者も“自由”に音楽を楽しむ

本学の軽音楽サークルが演奏を競う「バンドフェスティバル」や「世田谷祭」といった大規模イベントでのライブのほか、一通りの機材が揃う世田谷キャンパス18号館での「18号館ライブ」、街のスタジオを借りての「箱ライブ」と、活動の機会は多彩。「自分たちで機材のセッティングを行う18号館ライブは、気軽に楽しめるライブ。一方で使う機材も本格的で、音響や照明をプロがやってくれる箱ライブは、気合いを入れて臨むライブという印象があります」と解説してくれたのは、ボーカルの桑子さん。ライブごとにメンバーを募ったり、同じアーティストを愛好する者同士で固定バンドを組んだり、それぞれが自由なスタイルで音楽を楽しむのも、ハワイアンクラブの持ち味ようです。

大人数ですから当然、メンバーが得意とする楽器にも幅があります。「バンドではあまり目立たないけれど、ベースがいないと音楽が成り立たない。縁の下の力持ちというところに魅力を感じます」(宇多さん)という人もいれば「高校生のときからドラムをやっています。タップダンスを習っていたこともあっ



大いに盛り上がりを見せた「世田谷祭」ライブ終了後撮影。弾けるような笑顔が、ライブの大成功を物語っています。

て、リズムを刻むのが楽しくて」(野田さん)という人もいます。中にはクラシック音楽に親しみ、エレキバイオリンが弾ける部員もいるそうです。いざバンドを組もうとなったとき、必要な楽器を演奏できるメンバーが揃っているのはハワイアンクラブの強みです。そして、未経験者へのサポートが手厚いのも伝統。毎年6月頃には、先輩が新人部員たちを連れて楽器専門店を回り、試奏や購入の手伝いをする、その名も「楽器さわるう会」が催されるそうです。

驚きの!? いや必然の!? 「バンドフェスティバル」第1位受賞

2022年9月に渋谷「ギルティ」で行われた「バンドフェスティバル」では、スタジオスタッフの審査も経てハワイアンクラブが堂々の第1位を受賞しました。「プロの審査員を前に演奏するなんて初めての経験だったし、本当に緊張しました」とギターの野崎さんが言えば、「自分は完璧に演奏できたから、1位は当然だと思っていました」と同じくギターの野田さん。「歌詞を思いきり飛ばしてしまったのもあって、審査結果が書かれた紙を見せて貰うまで信じられなかった。嬉しかったですね」とはボーカル桑子さんの言葉。久々の有観客でのライブというのもあって、ハワイアンクラブの面々にとってはより強く記憶に残るライブになったようです。

11月に開催された「世田谷祭」でも有観客でライブを披露。4年生の宇多さんは「水害とコロナ禍でずっと開催できなかったので、やっとこの日が来た!という気持ちでした。お客さんがいると、ライブはやっぱり楽しい」と目を輝かせます。皆、これまでの鬱憤を晴らすかのように思いきりライブを楽しんだ様子でした。

コロナ禍でできなかったことを振り返りながら、「1年生のと

きに参加した合宿ライブが今もいい思い出。ぜひ復活させて次の世代に楽しんでほしい」と語るのは、4年生の桑子さん。部長の重責を担う野崎さんはそんな声を受け、「ここ数年で失ってしまったものを1つ1つ取り戻していこうと思っています。新入生の勧誘にも、今まで以上に取り組みたい」と力を込めます。

経験者も初心者も、先輩も後輩もなく、一体となって音楽を楽しむ――。本学の前身、武蔵工業大学の時代から繋がれてきたハワイアンクラブのよき伝統は、これからも変わらず受け継がれていくでしょう。



6つの軽音楽サークルで競った「バンドフェスティバル」には、取材メンバー+キーボード担当の6人で出場。「ヨルシカ」の楽曲を披露しました。